2022 年度 NGO スタディ・プログラム最終報告書

提出日	2023年3月6日		
氏名	石田博彰		_
所属団体(正式名称)	公益財団法人 世界こども財団		加 景圖
派遣タイプ	実務研修型(集合型)		
研修国	アメリカ合衆国		
	THE LANG SCHOOL (NY), FLEX SCHOOL (NJ)		
受入機関名	CTY of JOHNS HOPKINS (MD)		
	THE NUEVA SCHOOL (CA), BRIDGES ACADEMY (CA)		
研修期間	2022年10月15日~	研修日数	2 4 日間
	2022年11月7日	刊门乡口 奴	Z 4 Ц H]
研修テーマ	「ギフテッド教育先進国アメリカにて実態調査を行い、日本教育反映の		
	可能性を伺う」		

1. 導入(研修前の問題意識、所属団体や NGO が持つ課題および課題解決方策の分析など)

1-1. 問題意識

我が国の子どもたちは、同じ年齢グループで同じ学年を構成し、学習指導要領に示された同じ学習内容を共に学んでいる。つまり、個人差よりも年齢差を主要因とした学習プログラムである。一方、米国や欧州諸国では、国家のための人材の育成でもなく、行政の規制緩和政策の一環(我が国の教育上の例外措置すなわち大学早期入学のような)でもなく、生まれつき特別な才能を持つ子どもたちの学習ニーズに応じる、学習の個性化の一環としての「才能教育(gifted and talented education)」が、小学校から(正確には幼稚園段階から)高校を通して広まっており、当たり前となっている。

このような、生まれつき特別な才能を持つ子どもたちの能力を伸ばすための才能教育の必要性について、日本でも2021年7月、文部科学省が「特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する学校における指導・支援の在り方等に関する有識者会議」を立ち上げて議論を開始した。本会議では、特異な才能を持つ子どもや保護者、その支援団体に調査を行い、日本の現実とニーズに沿いながら協議が重ねられた。2022年9月、「特定分野に特異な才能のある児童生徒」への指導や支援の在り方に関する審議がまとまり、そうした子どもたちの指導や支援の方法について提言が行われた。

一方、ギフテッド教育先進国の米国では、才能教育が 1950 年代に始まり、州や地域ごとに早期入学や飛び級、サマースクール等を実施してきた。全米教育統計センターのデータによると、公立学校の児童生徒のうち、才能教育のプログラムに参加している割合は全国平均で 6.7%になる。有識者会議で座長を務めた岩永雅也・放送大学長(教育社会学)は「米国では早期入学や飛び級が定着していて、18 歳未満で大学進学する学生は、毎年約 20 万人にのぼる」と話す。英国では 97 年から公営の小中学校での特別教育等が本格的に実施された。対象は 4~19 歳で 5~10%が該当するという。83 年に導入したシンガポールでは、小学 3 年生全員にテストを実施し 1%程度を選抜した。対象者は 4 年生から特別クラスのある小学校に移って教育を受けた。韓国も 83 年に始めた。全体の約 1.8%を選抜し、英才学校などで数学・科学を中心とした特別プログラムを実施した。2000 年には英才教育振興法が制定され、才能児を「才能が優れた人間として、生まれついての優れた潜在力を啓発するために特別な教育が必要な人間をいう」と定義した。

日本には IQ130 以上の人は約 250 万人とも云われている。日本社会は、児童生徒に限らず「突出する人間」を「異質」と受け止める空気がある。「特定分野に特異な才能のある」 ≒ 「ギフテッド」「2 E」児童生徒を、同調圧力の高く同質的とされる日本の学校文化の中で如何育めるかが問われている時が来ている。今の日本は、国内の人口減少少子化の進展と共に大きな社会変化にある。今こそ、子どもが持つ多様な才能を伸長する新たな学校システムの構築が必要である。

1-2. 所属団体の現状と課題

世界こども財団の母体組織である星槎グループは、「社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。」という建学の精神を掲げ、「必要とする人々のために新たな道を

創造し、人々が共生しえる社会の実現を目指し、それを成し遂げる。」という教育理念のもと、中等教育・高等教育を中心に教育活動を展開し、より多様な特性を持つ子どもたちやより多様な年代の方々に学ぶ環境を提供してきた。

学校法人星槎は、星槎中学校・星槎高等学校・星槎名古屋中学校(3校とも不登校特例校)を設置し、学校法人国際学園は、星槎もみじ中学校(不登校特例校)・星槎国際高等学校(広域通信制高等学校)・星槎大学(共生科学部:通信)・星槎大学大学院(教育学研究科修士課程・博士後期課程:通信、教育実践研究科専門職学位課程)を設置している。不登校特例校としては開校以来、現行の学校教育になじめなかった児童生徒を対象に、「個」に最適化するとともに「集団」として協働的な学びの実現を目指した教育活動を展開している。また、星槎大学及び大学院においては、現場の教育力向上を目指す現職教員の学びへの希求に応えるとともに、理論と実務の架橋による実践的教育研究を行っている。

世界こども財団は、これまでも星槎グループが設置する学校を中心として、直接的にも、間接的にも特異な才能を持つ児童・生徒の支援を行ってきた。彼らは、不登校という状態像から入学したり、学び手である現職教員の勤務校に在籍していた。そして、それら児童生徒保護者教員からの星槎グループへの期待は年々大きくなってきたと感じている。この状況に鑑み、2023年4月から特異な才能をもつ児童・生徒への対応を専門に行うコースを、これまでの蓄積されてきた知見と経験のもと開講すると共に、社会へ当該児童生徒への理解を深める活動を展開していく。

しかしながら、今後に於いて、当該児童生徒を常に中心とした環境を整備することや未だに無い個別最適化された教育環境を創り用意することが簡単且つ容易でないことは明らかだ。また、個々の児童生徒の興味関心を重要視した学習プログラムを整備し進めることも容易ではない。そして、本コースを普及推進の段階に入っていくにあたっては、更に解決せねばならない課題も多岐にあることは間違いないと思われる。

1-3. 課題解決方策

今までの日本の教育は、不登校・発達障害などに目を向け充足が行われてきた。今後は、能力が高くて学校に不適応、或いは、退屈している児童生徒への教育対応を進めていく必要が急務であると考えている。つまり、特異な才能をもつ児童生徒に向けた教育環境構築を積極的に行うことが、日本の学校文化、児童生徒や周囲の大人の意識改革に繋がると考える。また、現在の日本では、学力、能力の高い日本人は海外に出てしまう傾向が見受けられるため、歯止めをかけることができるとも考える。

先ず行うべくは、子どもたち一人ひとりが安心できる環境で過ごし、集い、学べる環境として創ることだ。次に、特定分野において突出した意欲、興味、関心、能力を有する児童生徒が、個の発達に応じて伸ばすことのできる、個別性の高い教育課程を持った教育環境を整備し提供することだ。そして、唯一無二の存在である子どもに対して、科学的なアセスメントによるエビデンスに基づいて、児童生徒一人ひとりに合った個別指導計画を作成、客観的に分析を行う。認知特性、興味や関心が異な

る多様な児童生徒達が、お互いを認め合う、共に学び合うことのできるプログラムの土台を基礎として構築する。最後に、これらの経験を十分に活かしながら、現代の社会的課題や日本の文化土壌に対応するためのローカライズした新たなプログラムを提供できるようにする。

本研修で米国の視察調査を行うことができた。これから日本の対象児童生徒へ般化応用できるよう 弊団体が所属する母体組織団体・星槎グループの協力を得て、実践を行えるよう計画を進める。そし て、同じ志を持つ NGO 等と云った民間団体等へ拡めていくため、ニーズに沿いながら積極的公開や 発信を行う。

2. 本文 (研修テーマについて明らかになったこと、課題解決を前提とした研修実施内容の詳細報告)

2-1. 研修テーマについて明らかになったこと

ギフテッド教育先進国と言われている米国では、全土で様々な教育プログラムが行われている。欧州やアジア諸国でも、米国のプログラムを参考にして独自のプログラムが行われている。本研修では、「ギフテッド」そして「2e」教育に関する調査や対応が進んでいる米国で、有効とされる情報を集めること、得た知識とリソースをもとに、弊団体の事業内容とプログラムに反映させ、中長期計画を作成する。そして、子どもたちの環境改善と支援効果の向上につなげていくとにした。

研修前提として「ギフテッド」そして「2e」教育先進国の米国だが、全土導入されている代表的な教育プログラムは以下に挙げた4つである。しかし、さらに重要な事実として、地域や学校によって様々な形態がある。つまり、地域差があることも確かな事実として知ることができた。

- ・プルアウト方式 一定時間をギフテッドの子どもたちが集まる学校あるいは学級で過ごし、 残りの時間は通常のクラスで学ぶ。ギフテッドの子どもたちが集まる学校あるいは学級での過 ごし方は、複雑で困難な課題に取り組んだり、個人の興味に合う授業を受けたりなど学区や学校 により異なる。
- ・エンリッチメント方式 ギフテッドの子どもも一般の子どもたちと過ごすが、難易度の高い 課題を出されたり、単語スペル大会、サイエンスフェアなど各種コンテストへの参加を促された りなど、本人の才能を伸ばす機会を与えられる。
- ・アクセルレイト方式 「飛び級」「飛び入学」である。年齢でなく、本人の能力により、早期 入学や飛び越して上の学年や学校に入ることができる制度が何処の州でもある。
- ・サマースクール方式 夏休みにギフテッドの子どもたちを対象にしたキャンプや集中講義が全米各地で開催されている。なかでも、ジョンズホプキンス大学で 1979 年につくられた学習プログラム「Center for Talented Youth (CTY)」は高い知名度を持ち、同様に他大学でも似たプログラムが展開されている。

例えば、米国の小学生がギフテッドと認められると、週 1 日など決められた日数をギフテッド クラスの教室で過ごし、さまざまな学年のギフテッドの子どもたちと一緒に授業を受ける。

ギフテッドのクラスの授業では、子どもたちはじっくり考える機会を与えられ、問題を解決する力を伸ばしていく。また、子どもたちの探求心を刺激するような研究プロジェクトに取り組ませ、研究結果のポスターや模型を作り、保護者の前でパワーポイントを使ったプレゼンテーションを行う。

ギフテッドのクラスでの授業と並行し、その子のニーズによって普段の教室では他の子どもたちより難しい内容を学習したり、優秀な科目の授業を上の学年で受けたり、飛び級したりする。

2-2. 研修実施内容の詳細

以下は、本研修に於ける各団体への訪問記録である。訪問先では、時間の許す限り経営陣を筆頭に、管理職、現場教職員、研修担当、心理士、作業療法士、プログラムコーディネーター等と云った専門士、生徒、そして保護者ともお会いして直接「ギフテッド」そして「2e」教育のあり方と作り方、そして、その特徴を伺うこととした。

スケジュール概要				
日程	研修先	方法		
10/17 (月)	Lang School in NY	管理職、専門職、教員、保護者、子ど		
10/21 (金)	FLEX School in NJ	も等へのヒアリング、インタビュー		
10/24 (月)	CTY (Center for Talented Youth) of	管理職、専門職、教員等へのヒアリン		
10/25 (火)	Johns Hopkins University in MD	グ、インタビュー		
10/27 (木)	Nueva School in SF	管理職、専門職、教員、保護者、子ど		
10/28 (金)	Nueva School III Si	も等へのヒアリング、インタビュー		
10/30 (日)	Bridges Academy in LA	管理職、専門職、教員、保護者、子ど		
11/05 (土)	Bridges Academy in LA	も等へのヒアリング、インタビュー		
BC SK MB ST NL NL NL Lang School FLEX School NL Lang School FLEX School NV UT アメリカ合衆国 MO AR TN NC John Hopkins Univ. Bridges Academy TX メキシコ湾 キューバ プエルトリコ グアテマラ カリブ湾 Map data ©2023 Google, INEGI				



Lang School (以下 LS)

LS は、2010 年 9 月に 2 クラス、計 1 3 名の生徒で開校。 8 年目(2017 年)には 5 クラスに約 50 人の才能ある 2 e 生徒が在籍するようなった。

LS の典型的な子どもたちは、スタッフ、保護者、外部教育機関の協力と支援により、個別介入、相性の良い仲間や能力のある仲間のグループ分け、教室で差別化された指導を活用することができる。認知テストのスコアは、多くの場合優秀な高い範囲にあり、得意な分野と比較的困難な分野との間には大きな差がある。LS の子どもたちは、社会的な意欲があり、教室での厳しいながらも協力的な教育を受ける準備ができている。

LS は必要に応じて、プッシュイン、プルアウト、1 対 1、2 対 1、少人数カウンセリング、感覚・微細運動支援、言語療法、学力補修・加速教育を受けます。年度途中の転校の場合、授業料は 1 日あたりの日割りで計算される。IEP(個別教育計画)を持つ生徒の保護者は、ニューヨーク市教育局から授業料の払い戻しや支払いを受けることができる。

LS は、幼稚園から 12 年生までの子どもたちに、学業は州共通基礎スタンダードに準拠した教科横断的なアプローチに基づいて行なっている。歴史、文学、芸術の全てを、STEM と STEAM のアプローチに再統合している。カリキュラムや授業は、各コンテンツエリアにおいて、学校全体で統一された拡張性のあるテーマによって毎年指導されている。

LSでは、学習面でも社会性と情動の学習プログラムでも、クリティカル・シンキングと疑問のスキルの育成を重視している。生徒や家庭とのパートナーシップは、学校が本物の学習、成功、ひらめきの原動力や場所になり得るという可能性への新たな信頼につなげている。

生徒数 61 名

職員数 46 名/リーダー (7 名)、スペシャリスト (14 名)、教職員 (25 名)

対生徒職員比率2:1

奨学金·補助金受給率 40%

クラス最大 12 人に対しリード教員 1 名、アシスタント教員 1 名 (専門家 1 名のときもある) 授業料 86.250 ドル



Flex School (以下、FS)

FS は、ギフテッドの特性を持つ子どもや 2e の能力を持つ子どもの中高生向けに特別に設計された ユニークな学習ネットワーク機能を持つ学校である。現在、ニュージャージー州とニューヨーク州の 2つのキャンパスが3つの地区で跨って活動している。

FS は、子どものありのままの姿を受け入れ、子どもが成長できるようサポートしている。少人数制のクラスでは、各分野の専門家がディスカッションを行うことで、とても有意義な会話や高度な質問をする機会を提供している。教員は、学習専門家や精神保健の専門家によって訓練され、且つサポートされており、学習の全ての領域でクリティカル・シンキングに重点を置いている。

全てのクラスは、教科の専門家が指導、学習専門家がサポート、年齢でなく能力に応じて編成。安心できる子どもたちは、リスクを冒し、学ぶために必要なフラストレーションに直面することができる。少人数制のクラスで学ぶことを奨励し、特定の科目が苦手な生徒のために学習専門家やプライベートクラスも用意されている。また、FSでは、主要科目、選択科目、カスタムメイドのクラスなど、100以上の異なるコースを提供することが可能となっている。

一方、クラウドキャンパスでは、世界中から集まったオンライン学習者を、フルタイムまたはパートタイムのディスカッションベースのライブ授業やコミュニティに受け入れている。フロリダ、ワシントン、カリフォルニア、ウェストバージニア、アラブ首長国連邦、バミューダ、スイスなどからの遠隔地の子どもたちと大きな成功を収めている。

生徒数 79 名

職員数 60 名/リーダー (8名)、アドバイザリー (5名)、スペシャリスト (8名)、教職員 (39名) 対生徒職員比率 1:1

奨学金・補助金受給率ゼロ

クラス最大8人に対しリード教員1名、アシスタント教員1名(専門家1名のときもある)、高校生は最大10人程度での配置

授業料 40,000 ドル



CTY of Johns Hopkins University in MD(以下、CTY)

CTY は、米国の有名難関大学の 1 つであるジョンズホプキンス大学が作ったギフテッド教育の学習 プログラムだ。ほかに、デューク大学やノースウェスタン大学などにも同様の教育プログラムが存在 するが、1979 年に作られた長い歴史のある CTY は高い知名度を持つ。

CTY は、サマープログラムや通年のオンラインプログラムを通して、就学年齢に関係なく、子どもの興味や能力に合わせて深い学習を進めるところにある。その内容は、受験勉強や学習の先取りとはまったく異なる。

参加者は、独自の試験によって選抜される。講座には修了すると高校や大学の単位として認定してもらえるものもある。CTY の魅力は、年齢に関わらず学びを進められる点だ。大学教授や大学院生等の指導の下、自然科学や人文科学などの知見を基に推理的、論理的思考を駆使しながら、知る楽しさ、学ぶ楽しさを体験するプログラムになっている。サマープログラムには 9,500 人が参加、通年のオンラインプログラムは毎年 2 万 6700 人の子どもたちが受講。サマープログラムは米国全土の大学施設で開講され受講が可能、国内以外に香港の複数の場所でも提供している。セッションは 1 週間から 3 週間までがある。

CTY の基本的な考えは、プログラム、研究、カウンセリングサービス、アドボカシー活動を通じて、優秀な学習者とそのご家族に貢献することである。何故なら、今日の世界をより良くするために、大学入学前の才能を見出し、開発、支援することで、次世代のために世界をより良くしたいと願っているからだ。

オンキャンパスプログラムの一般的なクラスの人数は $12\sim18$ 人。各クラスにインストラクターとインストラクション・アシスタントがいる。

対生徒職員比率 6:1 から 9:1

CTY にはフルタイムで 109 名の職員が働いている。

授業料: LIVE コース 1,300 ドル、個人ペースコース 919 - 1,399 ドル、セッション・ベース・コース 409 - 2,045 ドル、クラブ活動: $175\sim365$ ドル



Nueva School (以下、NS)

NS は、幼稚園児から 12 年生までの才能ある生徒を対象にした私立学校である。NS は、1967 年にカレン・ストーン・マッカウンによって設立された。NS のカリキュラムのユニークな点は、デザイン思考と社会的感情学習に焦点を当てていることである。NS は、米国西部学校大学協会とカリフォルニア州独立学校協会に認定。1988 年、1997 年、2010 年には、米国教育省からブルーリボン賞を受賞。同校は 2021 年に Niche から全米で K-12 私立学校第 3 位、私立高校第 9 位の評価を受けた。

NS は、学際的な学習を生徒にもたらし、生徒の教育と世界に対する観察を完全に統合する。教師陣のパートナーシップと教科を越えたコラボレーションにより、生徒が重層的、相互依存的、かつ複雑な方法で学習できるような充実した課題を提供する。NS の教員は、複雑で意味のある問題に取り組む学習の機会を提供し、生徒が今日問題解決者となるよう指導している。彼らは、世界と教室の間の境界線をぼかしている。

NS、生徒一人ひとりの年齢ではなく、ステージに合わせた指導を行っている。この個人的なアプローチは、生徒の好奇心を刺激し、刺激的な学習体験を生み出す。NSの生徒たちは、実際にやってみることで学ぶ。実践的な取り組みを通して、知識を構築する。プロジェクトベースの学習のエキスパートである教師は、生徒が成功するために必要なスキルを身につけながら、発見を可能にする本格的で目的にかなった調査を指導している。生徒の選択は、すべての学習の中に織り込まれている。生徒の興味・関心が学習の指針となり、本物の疑問、深い興味、そして学ぶ喜びを呼び起こす。テーマ、トピック、アクティビティ、クラブなど、教室や地域社会の一員として、さまざまなことを生徒自身が選択し、意見を述べることができる。このような個別指導の結果、生徒の好奇心によって刺激的な学習体験がもたらされる。

教員・スタッフ: 236 名(専任教員: 168 名、職員: 68 名、修士以上学位取得教員: 80%) 対生徒職員比率 4:1

NS は幼稚園から 12 年生までの 889 人の生徒を受け入れている。

授業料

学年	授業料・手数料	研修費	合計
プリキンダーガーデン	\$33,210		\$33,210
幼稚園	\$41,800	\$40	\$41,840
1年	\$41,800	\$100	\$41,900
2年	\$41,800	\$500	\$42,300
3年	\$41,800	\$500	\$42,300
4年	\$41,800	\$500	\$42,300

5年	\$55,750*	\$2,000	\$57,350
6年	\$55,750*	\$2,800	\$58,550
7年	\$55,750*	\$1,500	\$57,250
8年	\$55,750*	\$3,500	\$59,250
9年	\$55,750**	\$4,200	\$59,950
10年	\$55,750**	\$4,000	\$59,750
11年	\$55,750**	\$2,200	\$57,950
12年	\$55,750**	\$1,700	\$57,450

^{*}テクノロジープログラム料金、ランチを含む。



Bridges Academy (以下、BA)

BAは、才能があり、自閉症、AD/HD、実行機能障害、処理能力障害、軽いディスレクシアなどの学習障害を持つ「2e」の学習者を対象とした大学進学校(4年生から12年生)。BAの生徒たちは、創造性と知的好奇心を原動力としている。

BA の教育モデルは、さまざまな長所、興味、学習上の差異を持つ多様な才能ある生徒を教育することである。強みを生かし、才能を開発することを目的としている。生徒一人ひとりの学習スタイル、学業、創造性、社会性、情緒の多様なニーズを満たすために、個別学習計画が作成される。刺激的なコアクラス、豊富な教養教育、少人数制クラス、充実した学習サポート、重要なアドバイザリープログラムや指導プログラムは、すべて BA のアプローチの一部である。

BA は、創立者の自宅で 3 人の生徒のための個別指導塾としてスタートした。1997 年から 1998 年にかけて年間入学者数は $40\sim50$ 人だった。2008 年、生徒数は 100 人を超え、2010 年には 150 人を超えた。現生徒数は約 180 名。

カリキュラムは「生徒の知的才能に見合った学問的挑戦があれば生徒は成長する」という理解と「カリキュラムを薄めることなく生徒の特別なニーズを満たすことができる」という信念に基づき、強みを活かした生徒中心のものとなっている。

職員数 70 名、平均クラスサイズ 4 名~15 名

対生徒職員比率 9:1

授業料は\$47,400で一括払い、または11ヶ月払いを選べる。

^{**}テクノロジープログラム料金、昼食、定期券を含む。

3. 考察・提言

3-1. 結論

現在、ギフテッドに医学的な診断基準はない。ギフテッド教育先進国の米国でさえ、定義が定まっていない。1972年に米国議会に提出された「マーランド報告」により「知性、創造性、芸術性、リーダーシップまたは特定の学問分野で高い達成能力を持ち、その能力を発揮させるために通常の学校教育以上の活動や支援を必要としている子ども」と定義づけられた。しかし、以後、州によって変更が加えられていったため、米国国内でもギフテッドの定義は場所により異なる。

また、ギフテッドを知能指数(IQ)から判断する方法等もあるが、IQ のみで測ることができない芸術性や創造性といった領域における高い能力もギフテッドの一部として理解するため、ギフテッドを一概に判断することは難しいとされている。そんな中、米国国内でも先進的に教育界をリードする東海岸と西海岸で、今を行く現場の視察ができたこと、実際の声を伺うことができたことのメリットは大きい。そして、これらの調査結果を参考にして、これから広がる日本でのギフテッドや 2e 教育、つまり特定分野に特異な才能のある教育へ良い兆しと更なる可能性、そして良い基盤を築くきっかけとなると思われる。ギフテッドや 2e 教育は、エリート養成が目的ではない。「才能や能力の高低にかかわらず、児童生徒 1 人ひとりが自分自身の能力をより高いレベルに伸ばす」という教育平等の考えを基礎としているからである。

3-2 本研修成果の自団体、NGO セクターの組織強化や活動の発展への活用方針・方法

- ◆ Step 1. 研修で学んだ内容の概要を共有する
 - 1) 弊団体内・研修報告(12月)
 - 2) 弊団体・母体団体全職員研修報告(2月)
 - 3) 一般外部向け研修報告 その1(3月) その2(6月) その3(9月) その4(12月)
- ◆ Step 2. ギフテッドに関する学習会教職員向け開催 (5月)
- ◆ Step 3. ギフテッドに関する学習会保護者向け開催(7月)
- ◆ Step 4. ギフテッドに関する学習会関係者向け開催(8月)

本研修によって得られた Lang School in NY、FLEX School in NJ、CTY (Center for Talented Youth) of Johns Hopkins University in MD、Nueva School in SF、Bridges Academy in LA らと今後も交流を続け、研修、情報交換を継続していく。

また、2023 年 4 月にスタートする SEISA アカデミーを皮切りにコース交流を今回視察で訪問した 5 校と積極的に行ない、双方で研鑽を高めていくこととしている。

3-3 テーマに関する日本の国際協力分野への提言

日本はギフテッド教育後進国である。日本では、自分の子どもにギフテッドの可能性を感じても、適切な教育を受けられる機会が少ない状況がある。ギフテッドに関して理解がなく、横並び教育が原因

で不調をきたすギフテッドの子どももいる。ギフテッドの子どもへ対応できる教師が少なく、子どもがクラスの学習ペースに合わせなくてはいけません。ギフテッドの子どもたちは、能力を発揮できず、学習欲求を抑えられてしまうような環境にストレスを感じている。先生の理解のない対応やクラスメイトとの関係に悩み、自分の能力を隠すようになる子どもや、不登校になるギフテッドの子どもは少なくありません。また、子どもの突出した能力に戸惑う親も多く、親子で孤立するケースが出てきてもいる。

日本で海外のようなギフテッド教育を実施するには、まだ時間がかかるでしょう。まずは学校や先生がギフテッドについて勉強し理解を深めることが大きな課題である。学校と家庭が情報を共有し、ギフテッドの子どもに合った学習環境を用意することが重要である。そして、NGOと研究者の協力や連携も当たり前のように広がっていくことが望ましい。良き連携の事例を社会に発信していくことを提言したい。

4. 団体としての今後の取り組み方針

学習指導要領では「単純な課題は苦手だが複雑で高度な活動が得意な児童生徒や、対人関係は上手ではないが想像力が豊かな児童生徒、読み書きに困難を抱えているが芸術的な表現が得意な児童生徒など、多様な特徴のある児童生徒が一定割合存在します。学校内外において、このような児童生徒を含め、あらゆる他者を価値のある存在として尊重する環境を築くことが重要です」と明示している。

弊団体の母体組織の星槎グループは、2023 年 4 月から「SEISA アカデミー」をスタートさせる。初年度は小学校 4 年生から中学校 2 年生までの 6 名でスタートする。本コースは、学年を越えて一緒に共同学習をする、小学 1 年から高校 3 年まで各学年 5 名を定員とした少人数教育だ。一人ひとりに対応するオーダーメイドの教育環境で教師が子どもと 1 対 1 で対応する時間が取れるようにする。

才能のある子どもに対して、どのような指導・支援を行うべきか。才能のある子ども、才能と障害の両方がある子どもが、どのような能力を持っているのか、その才能或いは障害ゆえに学校で何にどう困っているのかを知る必要があると考える。大切なのは、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びを実現する。

SEISA アカデミーでは、苦手なことをどうカバーするか、不登校経験のある生徒、得意不得意の差が大きい生徒等に対応してきた「IEP(個別支援教育計画)」を活用する。一般的に日本の子どもが知能検査を受ける機会は少ないが、星槎グループにいる子どもは知能検査を受けており、そうした結果や特徴、行動観察、学習成果、得意不得意、興味関心、さらに生活習慣の情報がこの IEP に組み込まれている。しかし、IQ でギフテッドの子を特定できるわけではなく、ギフテッドを診断するアセスメントツールがあるわけでもない。ただ、この IEP は、米国ギフテッドや 2e 教育同様、児童生徒本人を真ん中に置き、教員と保護者を結びつけ、三位一体で取り組むフレーム機能をしていることが特徴となっている。今後は、本研修の結果をローカライズし、IEP を交えて、見える化を行い、社会還元を行う。

5. その他

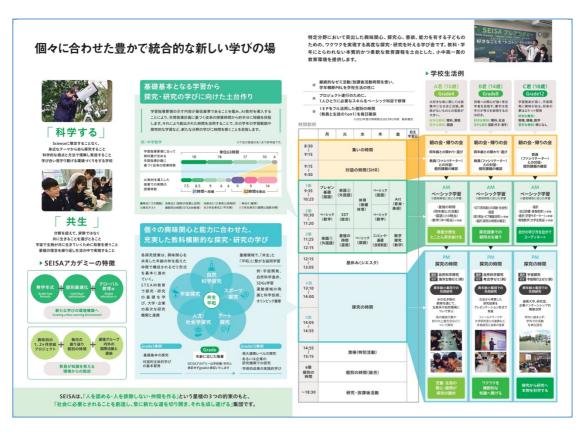
5-1 本プログラムや事務局側に対する提案・要望等

- · 事務局対応は、研修事前と事後と、コロナ禍もありながら迅速且つ丁寧にご対応頂き助かりました。
- ・ オリエンテーションが行われた際に担当の方が辞められるとアナウンスがあり不安になりました。 以後のフォローアップがある方が良いかと思いました。

5-2 写真類及び研修員が受入先機関に提出した報告書類等

視察先への提出資料



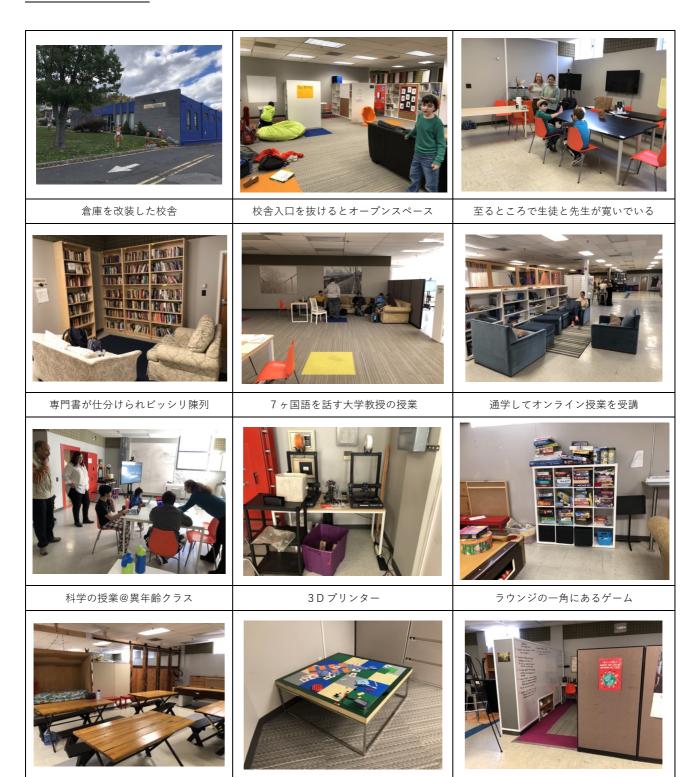


Lang School in NY



FLEX School in NJ

カフェラウンジ

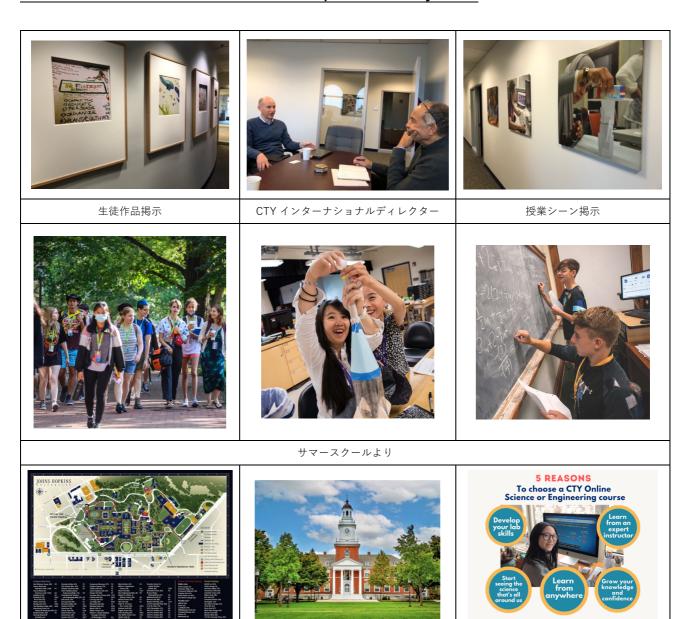


レゴブロック

ホワイトボードが至るところに設置

CTY (Center for Talented Youth) of Johns Hopkins University in MD

ジョンホプキンス大学キャンパス地図



ジョンホプキンス大学

CTY プログラムポスター

Nueva School in CA (San Francisco)







カウンセラー、日本語教諭2名 入口







それぞれ課題に取り組んでいる

教室外で授業を受けることも可能

授業はオープンスタイル







サイエンス授業





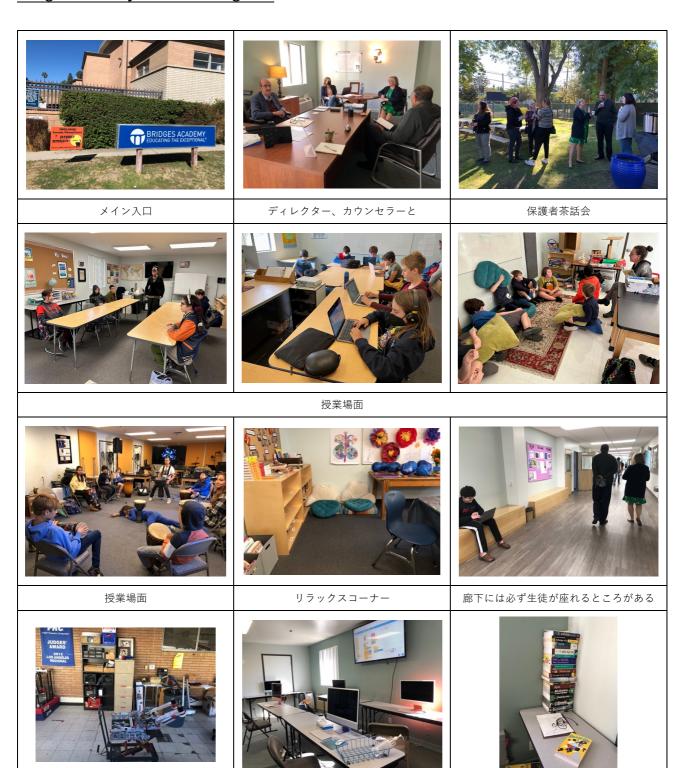


校舎にはコンフォートゾーンスペースが設置

生徒作品の展示

Bridges Academy in CA (Los Angeles)

ロボティクス



プログラミングのテキスト類

プログラミング教室